

4 地業工事	1 地盤調査の結果	調査位置、柱伏図、地層構成、地下水位 ・ 図示による ()	4 鋼杭事業	種類の記号 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.4)(4.4.5) ・ SKK400 ・ SKK490 杭の種類、寸法、継手等	5 場所打ち コンクリート杭事業	杭径、長さ、仕様等 (4.2.2)(4.5.1)(4.5.4)(4.5.5)(4.5.6) ・ 図示による ()	9 砂利地業	材料 (4.6.2) ・ 再生クラッシュラン(Ⅱ) ・ 切込砂利又は切込砕石		
	2 支持地盤	・ 杭基礎 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6) 支持地盤の種類及び位置 (基礎杭の先端の位置含む) ・ 図示による () ・ 直接基礎 支持地盤の種類及び位置 (基礎底部の位置含む) ・ 図示による () 長期設計支持力度 ・ () kN/m ² 試験掘 (根切底) による支持地盤の確認 (3.2.1) ・ 行う 試験の位置、方法は図示による () ・ 行わない 地盤の載荷試験 (4.2.4) ・ 行う 試験の位置、方法は図示による () ・ 行わない		試験杭の施工 ※ 本杭の施工に先立ち行う 試験杭の位置、本数 ※ 最初の本 () 図示による ()		材料その他 帯筋の加工及び組立 ・ 図示による () 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 図示による () 鉄筋かごの補強 ・ 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 ・ 重ね継手 重ね継手の長さ ・ 図示による () ・ 主筋の基礎底盤への定着長さ ・ 図示による () セメントの種類 (4.5.4)(6.3.1) ※ 高炉セメントB種(Ⅱ) ・ コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1) ・ A種 ・ B種 ・ 評定等の評価内容による コンクリートの設計基準強度(N/mm ²) (4.5.4)(4.5.5)(4.5.6) ・ 21 ・ 24 ・ 27 ・ 30 スラブ ・ 18cm ・ 21cm 構造体強度補正值(S) (4.5.4) ※ 3N/mm ² ・ 評定等の評価内容による 掘削工法 (4.5.1)(4.5.5)(4.5.6) ・ アースドリル工法 安定液 ・ 使用する ・ 使用しない ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない 併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による () 鋼管巻き材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 払底杭工法 図示による () 安定液 ・ 使用する ・ 使用しない		9 砂利地業 材料 (4.6.2) ・ 再生クラッシュラン(Ⅱ) ・ 切込砂利又は切込砕石		
3 既製コンクリート 杭事業	種類 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)~(4.3.6)(4.3.8) ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) 試験掘 ・ 行う 孔径はオーガー径とする 位置及び長さは図示による () 試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う ・ 行わない 杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分 (種別)、寸法、継手の箇所数等 (4.2.2)(4.3.3)	試験杭の施工 ※ 本杭の施工に先立ち行う 試験杭の位置、本数 ※ 最初の本 () 図示による ()	施工方法 (4.4.1) ・ 特定埋込杭工法 (4.3.5) ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式で $\alpha=250$ を採用できる工法 図示による () ・ 上記以外の特定埋込杭工法 図示による () 工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ 杭の支持層への根入れ長さ ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による () 建込み時の杭の鉛直度 ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による () 杭の現場継手 (4.4.5) ・ アーク溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 (4.4.3) ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 図示による () ・ 機械式継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ・ 評定を受けた工法 (図 による) 検査 ・ 評定等により定められた項目 (図 による) 施工 ・ 評定等をされた施工管理基準による (図 による) 杭頭の処理 (4.4.6) ・ 行う 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 図示による () ・ 行わない 杭頭の中詰め材料 (4.4.6) ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの	工法 (4.2.2)(4.5.5)(4.5.6) 試験杭の施工 ・ 本杭の施工に先立ち行う 試験杭の位置、本数 ※ 最初の本 () 図示による () 孔壁測定 (4.5.5)(4.5.6) ・ 行う 測定方法、測定箇所は図示による () ・ 行わない 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示 () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による	10 捨てコンクリート 地業 コンクリートの仕様 (4.6.4)(6.14.1)(6.14.2)(6.14.3) ・ 無筋コンクリートによる セメントの種類 (6.3.1) ・ 高炉セメントB種(Ⅱ) 厚さ及び使用範囲 (4.6.4) 厚さ 使用範囲 ※ 60 基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、 土に接するスラブ下 11 床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5) 施工範囲 (4.6.2)(4.6.5) ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ・ 材料 ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 防湿層の位置 ・ 図示による ()					
年度	設計年月	工事名					建築士法第20条第1項に基づく表示	図面名称 特記仕様書 (その2)	縮尺	No.

5 鉄筋工事	1 鉄筋の種類	鉄筋の種類等 (5.2.1) (表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	・SD295			・SD345			種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ねじ鉄筋継手 充填方式 <ul style="list-style-type: none"> ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 	13 壁開口部の補強	一般壁 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 8.2 (・A形 ・B形)) 	8 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート 適用箇所 ※ 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による () 設計基準強度 (N/mm ²) ※ 18 スラブ ※ 15 ・ 18											
	種類の記号	呼び名	備考																							
	・SD295																									
	・SD345																									
	2 溶接金網	鉄線の形状等 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子						工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者機関の評定等取得している工法 ・ 図示による () 	14 梁貫通部の補強	補強形式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 11.1 (・H形 ・()形)) 	9 打継ぎの位置 (6.6.4) 打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継ぎ目地 目地寸法 ・ 標準仕様書9.7.3による ・ 図示による () 間隔、位置、形状 ・ 図示による ()						
	種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																						
	・溶接金網																									
	・鉄筋格子																									
3 鉄筋の継手	継手方法等 (5.3.4) <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>柱・梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手</td> <td>・ 機械式継手 ・ 重ね継手</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋 ()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table>	部位	継手方法	呼び名	柱・梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・ 機械式継手 ・ 重ね継手	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手		その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手		鉄筋相互のあき <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 4.1) 	15 基礎梁主筋の継手	配筋種別 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 11.1) ・ 図示による () 梁貫通孔径 (部材記号含む) 及び配筋種別リスト <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 	10 コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>※ 防水立上がり、防水押えコンクリート立上がり</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>※ 見え掛りのｽﾗﾌﾞ</td> </tr> </table>	種別	適用箇所		・ a種		・ b種	※ 防水立上がり、防水押えコンクリート立上がり	・ c種	※ 見え掛りのｽﾗﾌﾞ
部位	継手方法	呼び名																								
柱・梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・ 機械式継手 ・ 重ね継手																								
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手																									
その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手																									
種別	適用箇所																									
・ a種																										
・ b種	※ 防水立上がり、防水押えコンクリート立上がり																									
・ c種	※ 見え掛りのｽﾗﾌﾞ																									
4 鉄筋の定着長さ	鉄筋の定着長さ (5.3.4) <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3.1(b)) ・ 図示による () 機械式定着工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する適用箇所 ・ 図示による () 種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による 補強筋形状 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による かぶり厚さ <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による 品質確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による 検査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による 	品質の確認方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による () 	16 機械吊上げ用ﾌｯｸ	種別 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 	11 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) ・ 打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・ 20mm																					
5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (自地底から算出を行う) (5.3.5) <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 表4.1) ・ 図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 <ul style="list-style-type: none"> ・ なし ・ あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さ ・ 鉄筋径の1.5倍以上 軽量コンクリートを適用する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ あり 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚に加える厚さ () mm 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし ・ あり 適用箇所 () <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 表4.1) に加える厚さ () mm 鉄筋相互のあき (特殊な鉄筋を除く) <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 4.1) ・ 図示による () 	不良となった継手の修正方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 	6 コンクリート工事 (5.6.3)	1 1 コンクリートの種類及び強度 (6.2.1) (表6.2.1) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> 構造体強度補正值 (S) ・ 標準仕様書表6.3.2による スラブの位置 (cm) <table border="1"> <tr> <th>打込み箇所</th> <th>基礎、基礎梁、土間スラブ</th> <th>柱、梁、スラブ、壁</th> </tr> <tr> <td>所要スラブ</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td>・ 15 ・ 18</td> </tr> </table>		設計基準強度	適用箇所	・ 24		・		・		・		打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スラブ	・ 15 ・ 18	・ 15 ・ 18	2 レディーミクスコンクリートの種別 種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ I類 ・ II類 	12 型枠 (6.8.2) ・ 外壁タイル張りで、MOR工法又は目荒らし (高圧水洗) 工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う せき板の材料及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> ・ 合板 (・ 12mm) G 断熱材の兼用した型枠材の使用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う 適用箇所 () ・ 行わない スリーブの材質・規格等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書6.8.2(9) (7)、(4)による 			
設計基準強度	適用箇所																									
・ 24																										
・																										
・																										
・																										
打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁																								
所要スラブ	・ 15 ・ 18	・ 15 ・ 18																								
6 各部配筋	各部配筋 (5.3.7) <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図)) 	使用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 性能 (H12建設省告示第1463号に適合するもの) <ul style="list-style-type: none"> ・ A級 	3 セメント (6.3.1) 種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) ・ 施工箇所 () ・ 高炉セメントB種 ・ 施工箇所 (※ 基礎、地中梁) ・ フライアッシュセメントB種 ・ 施工箇所 () 	13 コンクリートの単位水量測定 (6.5.1) 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m3に1回以上及び荷下ろし時に品質の異常が認められたときに実施する (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4) (c)による (3) 単位水量の管理目標値は次のとおりとして施工する 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値 (以下、「設計値」という) ±15kg/m3の範囲にある場合はそのまま施工する 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え20kg/m3の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査すると共に生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m3以内で安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う 3) 設計値±20kg/m3を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査すると共に生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m3以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m3以内で安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う 4) 単位水量管理についての記録を書面 (計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等) と写真により提出する 5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする																						
7 圧接完了後の試験	抜取試験 (5.4.10) (5.4.11) <ul style="list-style-type: none"> ・ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする	使用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 性能 (H12建設省告示第1463号に適合するもの) <ul style="list-style-type: none"> ・ A級 	4 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ A ・ B 																							
8 機械式継手	使用箇所 (5.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 性能 (H12建設省告示第1463号に適合するもの) <ul style="list-style-type: none"> ・ A級 	品質の確認方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 不良となった継手の修正方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 	5 混和材料 (6.3.1) 混和剤の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書6.3.1(4) (a)による 混和材の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書6.3.1(4) (b)による 																							
		組立の形の種別 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 6.2 (・H形 ・()形)) 	6 気乾単位容積質量 (6.13.2) 普通コンクリート <ul style="list-style-type: none"> ・ 2.3t/m3程度 																							
		9 溶接継手 (5.6.3)	7 マスコンクリート (6.13.2) セメントの種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高炉セメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中唐熟ポルトランドセメント ・ 低熟ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ シリカセメント 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 																							
		10 帯筋	混和剤の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書6.13.2(2) (7)による 混和材の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書6.13.2(2) (4)による 																							
		11 最上階柱頭補強	スラブ <ul style="list-style-type: none"> ・ 15cm 構造体強度補正值 (S) <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書表6.13.1による 																							
		12 片持ちスラブの出隅部の補強配筋 (出隅受け部分の補強筋を含む)																								

7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) ・ 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄鋼工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める()グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ 監督職員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)	7 アンカーボルト	適用 (7.2.4)(表7.2.3) ・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 セットの種類 (JIS B 1220) ・ ABR490 セットの種類 (JIS B 1220) ・ SNR400B アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表7.2.3による	15 鉄骨の仮組	(7.3.10) ※ 行う 仮組を行う範囲 ・ 図示による ()	21 錆止め塗装	塗料の種類 (7.8.4)(18.3.2) ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限り) ・ 標準仕様書 表18.3.1 A種 ・ ・ 塗装を行う耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ・ 図示による () ・ 上記以外の鉄鋼面 ・ 標準仕様書 表18.3.1 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ 標準仕様書 表18.3.2 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	2 鉄骨製作工場における施工監理技術者	※ 適用する (7.1.4)	8 溶接材料	溶接材料 (7.2.5) ※ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 図示による ()	16 溶接技能者の技量付加試験	(7.6.3) 試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ・ 図示による ()	22 耐火被覆	種類 (7.9.2~7.9.8) 種類別 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックール ・ 半乾式吹付けロックール ・ 湿式ロックール ・ ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸ががら板 ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックール ・ ラス張り ・ 珪藻土塗り ・ 耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
	3 鋼材	(7.2.1)(表7.2.1) 種類の記号 適用箇所 規格 ・ 図示による () ・ JISによる ・ 大臣認定による ・ 図示による () ・ JISによる ・ 大臣認定による ・ 図示による () ・ JISによる ・ 大臣認定による ・ 図示による () ・ JISによる ・ 大臣認定による	9 ターンバックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル鋼 ・ 割枠式 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ねじの呼び 図示による ()	17 溶接接合	(7.6.4) 開先の形状 ・ 図示による (構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-2) ・ 図示による () ・ スカラップの形状 ・ 図示による (構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4) ・ 図示による () ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 (7.6.7) ・ 全て ・ 見え掛り部となる部分 ・ 切除する部分なし 切断する範囲 ・ 鋼製エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し寸法は5mm以下とする なお、切断面が交差する場合は交差部をアール状に加工する ・ 切断面の仕上げ ・ 標準仕様書7.6.7(1)(a)(b)による ・ 溶接部の余盛り高さ (7.6.7) ・ JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」付表3[溶接]による ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7) ・ 図示による ()	23 建方精度	(7.10.2) ・ (一社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6 [鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場]による
	4 高力ボルト	高力ボルトの区分 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1~7.4.9) ・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト セットの種類 ・ 2種(F10T) 高力ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による (構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔) ・ 摩擦面の処理方法 ・ 標準仕様書7.4.2(1)による ・ すべり係数試験 (7.4.2) ・ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ 図示による ()	10 床構造用デッキプレート	材質等 (6.8.2)(7.2.7) ・ デッキプレート 単独の構法 ・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする 構法 床型枠用を使用する場合において受注者は、施工に先立ち施工の安全性を確認すること 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・ 図示による () 鉄骨部材への溶接方法 ・ 図示による () 耐火認定 ・ 有り 耐火時間 ・ 図示による () ・ 無し	18 現場溶接の有無	(7.6.7) ・ なし ・ あり 適用箇所 ・ 図示による ()	24 アンカーボルト等の設置	(7.10.3)(表7.10.1) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込工法 種類 ・ A種 ・ B種 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 種類 ・ 図示による () 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2) ・ 標準仕様書 表7.10.2 ・ A種 モルタル厚さ () ・ B種 モルタル厚さ ()
	5 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (7.2.3)(7.3.2)(7.3.8) ・ 標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)による ・ 標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は、JIS本体規格品(ISO規格)による。(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする) 座金 ・ 標準仕様書7.2.3(4)による ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による (構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔) ・	11 スタッ	材質、形状及び寸法 (7.7.8) ・ 頭付きスタッド JIS B 1198 呼び名等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22	19 入熱、バス間温度の溶接条件	(7.6.7)(7.6.10) 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示による (構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4) ・ 図示による () 適用箇所 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・ 図示による ()	25 軽量形鋼構造	(7.11.2) 接合部(ボルト接合の場合) ・ 普通ボルト接合 ・ 母屋、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする
	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 (7.2.2)(7.12.4)(7.12.5) ・ 1種(F8T相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8) ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による (構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔) ・ 摩擦面の処理 (7.12.5) ・ プラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合はすべり係数値の確認を行う ・ すべり係数試験 試験方法 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による	12 柱底均しモルタル	モルタルの種類 (7.2.9) ・ 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※ 標準仕様書7.2.9(2)(7)から(5)による ・ 標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル	20 溶接部の試験	(7.6.12)(表7.6.2)(表7.6.3) 完全溶け込み部の超音波探傷試験 ・ 行わない ・ 行う ・ 工場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 抜取り検査 AOQL(%) ・ 4.0 ・ 2.5 節 検査水準 ・ 全て ・ 第6水準 ・ ・ ・ 工事現場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 係数連続生産型抜取り検査 AOQL(%) ・ 4.0 ・ 2.5 突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(建築研究所監修)」による ・ 抜取り検査① ・ 抜取り検査② JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3[溶接]に関する試験方法等 ・ JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する	26 溶融亜鉛めっき(構造耐力上主要な部分)	(7.12.4)(表14.2.2) 種類別 亜鉛めっきの種類 材料 適用部位 A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 素地ごしらは、JIS H 8641による 適用箇所 ・ 図示による ()
			13 工作図	監督職員による現寸検査 (7.3.2) ・ 行わない ・ 行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う	27 梁貫通孔の補強	補強方法 ・ 補強プレート法 ・ 補強トラス法 適用箇所 ・ 図示による ()	27 梁貫通孔の補強	補強方法 ・ 補強プレート法 ・ 補強トラス法 適用箇所 ・ 図示による ()
			14 製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による 差しダイヤフラムの突き合せ継手の食い違い寸法 ・ H12建設省告示第1464号第二号(2)による ・ アンダーカットの寸法 ・ H12建設省告示第1464号第二号(3)による ・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・				

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント工事

1 補強コンクリートブロック造

2 コンクリートブロック塀及び塀

3 ALCパネル

4 押出成形セメント板 (ECP)

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・空洞ブロック(C16)	・ 120 ・ 150	・ 400	・ 200	・ 無 ・ 有		

モルタルの割合 (容積比)

- 標準仕様書 (表8.2.1) による
- セメント ()
- 砂 ()

各部の配筋

- 図示 ()

目地仕上げ

- 押し目地仕上げ
- 化粧目地仕上げ

モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲

- 図示 ()

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・空洞ブロック(C16)	・ 120 ・ 150	・ 400	・ 200	・ 無 ・ 有		
・型枠状ブロック(D20)	・ 120 ・ 150	・ 400	・ 200	・ 無 ・ 有		

塀の厚さ (mm)

- 塀の高さが2m以下
- ・ 120
- 塀の高さが2mを超え
- ・ 150

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状

- 図示 ()

化粧目地の有無

- 無
- 有

工法

コンクリートブロック積みの積高さは、壁厚の25倍かつ3,500mm以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造壁とする

ALCパネルの区分等

区分	単位荷重 (N/m ²)		厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能	構法の種別
	正荷重	負荷重				
・外壁用	・一般	・平	・ 100	・ 図示による	・なし ・1時間	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般	・平	・ 100	・ 図示による	・なし ・1時間	・C種 ・D種 ・E種
・屋根用	—	—	・ 100	・ 図示による		・F種
・床用	—	—	・ 100	・ 図示による		

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材

- 外壁、屋根パネルの構法
- 1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した構法

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

- 図示 ()

パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切りパネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅

- 10~20mm

外壁、間仕切りパネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填

- 適用する
- 適用しない

パネルの種類

種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	耐火性能
・外壁パネル	・ F	・ F-R	・ 50	・ A種	・ 30分
	・ D	・ D-R	・ 60	・ B種	・ 1時間
	・ T	・ T-R	・ 100	・ C種	・ 2時間
・間仕切壁パネル	・ F	・ F-R	・ 50	・ B種	・ 30分
	・ D	・ D-R	・ 60	・ C種	・ 1時間
	・ T	・ T-R	・ 100	・ C種	・ 2時間

注) F: フライパン形、D: デザイン形、T: タイル形

外壁パネルの方法

- 1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した構法

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

- 図示 ()

パネル相互の目地幅

- 長さ () mm
- 短辺 () mm

出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm)

- ・ 15

耐火構造以外の目地及び隙間の処理

- パネルの製造所の仕様

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する

欠き込みの種類	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに孔あけを設ける場合	短辺	・ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以下
	長辺	・ 500mm以下	300mm以下
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺	・ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以下
	長辺	・ 500mm以下	300mm以下

9 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート
・ A-1			・ アスファルト厚さ0.15mm以上又はフラットタイプ70g/m ² 程度
・ A-2			
・ A-3			
・ B-1			・ フラットタイプ70g/m ² 程度
・ B-2			
・ B-3			
・ AI-1	(種類)		・ フラットタイプ70g/m ² 程度
・ AI-2	・ JIS A 9521に基づく押出法製スルホンアム断熱材3種bA (スルホン付)		
・ AI-3			
・ BI-1		(厚さ (mm))	・ 25
・ BI-2			
・ BI-3		・ 50	

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.2.3) 及び (表9.2.4) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.2.5) 及び (表9.2.6) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

立上がり部への断熱材及び絶縁用シート

- 設置しない
- 設置する

平場の保護コンクリートの厚さ

- こて仕上げ
- ・ 水下80mm以上
- 床下10mm張り
- ・ 水下60mm以上

立上がり部の保護方法

- 乾式保護材
- 窯業系パネル1類
- 厚さ () mm
- 幅 () mm
- (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による
- れんが押え (・ JIS A 1250)
- コンクリート押え
- モルタル押え (屋内)

屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗材
			種類 ・ アスファルトフィング類の製造所の仕様
・ D-1			・ アスファルトフィング類の製造所の仕様
・ D-2			
・ D-3			
・ D-4			
・ DI-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類)	・ 25
・ DI-2		(厚さ (mm))	

高日射反射率防水の適用

- 適用する
- 適用しない

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.2.8) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.2.7) 及び (表9.2.8) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

絶縁断熱工法の断熱材の張り及び立上がり部周辺の断熱材の張りじまい位置

- 図示

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

- 種類
- ・ アスファルトフィング類の製造所の指定
- 設置数量
- ・ アスファルトフィング類の製造所の指定
- 箇所

屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ E-1		・ E-2	

保護層

- 設ける (・ 図示)
- 設けない

E-1の工程3を行う部位

- 貯水槽、浴室等常時水に接する部位

防水層下地の立上がり

- コンクリート打放し仕上げ
- 標準仕様書 (表6.2.4) [打放し仕上げ種別]のB種

立上がり部の押え金物の材質、形状及び寸法

- アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

2 改質アスファルトシート防水

防水層の下地のモルタル塗り

- 適用する (施工範囲 ・ 図示)
- 適用しない

屋根排水溝

- 図示

施工種別

- 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取付ける

屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗材	
				種類	使用量
・ AS-T1				・ 改質アスファルトシートの製造所の仕様	・ 改質アスファルトシートの製造所の仕様
・ AS-T2					
・ AS-T3					
・ AS-T4					
・ AS-J1					
・ ASI-T1		標準仕様書9.3.2(3) (種類)	・ 設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様)		・ 設けない
・ ASI-J1		(厚さ (mm))			

高日射反射率防水の適用

- 適用する
- 適用しない

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.3.1) 及び (表9.3.3) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.3.2) 及び (表9.3.3) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

- 標準仕様書 (表9.3.2) 及び (表9.3.3) による
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
- 用途による区分
- 材料による区分
- R種
- 厚さ () mm以上

立上がり部の押え金物の材質、形状及び寸法

- アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

- 種類
- ・ アスファルトフィング類の製造所の指定
- 設置数量
- ・ アスファルトフィング類の製造所の指定
- 箇所

施工種別

- 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取付ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種類

種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材 G	仕上塗材	
				種類	使用量
・ S-F1				・ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ S-F2					
・ S-M1				・ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ S-M2					
・ SI-F1			標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類)	・ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ SI-F2			(厚さ (mm))		
・ SI-M1			標準仕様書9.4.2(3) (a) (種類)	・ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ SI-M2			(厚さ (mm))		

高日射反射率防水の適用

- 適用する
- 適用しない

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

- 非歩行仕様
- 軽歩行仕様

SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム

- 設置する
- 設置しない

S-M2またはSI-M2の立上がり部の工法

- 接着工法
- 立上がり面のシート厚さ
- ・ 1.5mm
- () mm
- 機械式固定方法

4 塗膜防水

防水層の種類

種別	施工箇所	仕上塗材		保護層
		種類	使用量	
・ X-1		・ 主材料の製造所の仕様	・ 主材料の製造所の仕様	
・ X-2		・ 主材料の製造所の仕様	・ 主材料の製造所の仕様	
・ Y-1	・ 地下外壁防水			
・ Y-2	・ 屋内防水			

高日射反射率防水の適用

- 適用する
- 適用しない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量

- 種類
- ・ 主材料の製造所の仕様
- 設置数量
- ・ 主材料の製造所の仕様
- 箇所

ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工法及び各工法の使用量

- 主材料の製造所の仕様

施工種別

- 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取付ける

5 ケイ酸質系塗布防水

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ C-UI		・ C-UP	

防水層の下地

- 壁 (・ コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種))
- 天井部 (・ コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種))

下地処理

コンクリートの打継ぎ箇所の処理

- 打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水剤の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する
- 図示

下表以外は、標準仕様書 (9.7.1) による

ただし、外装壁タイル接着剤張り目地の場合は11章に、カーテンウォール目地の場合はシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所

- 図示

シーリング材の目地寸法

- 標準仕様書 (9.7.3) (1) (7)~(9) による
- 図示

接着性試験

- 簡易接着性試験
- 引張接着性試験

10 石工事	1 施工	石材の割り付け ・ 図示 (10.1.3)(10.1.5) 粗面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ ・ 図示 屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ ・ 行う (適用箇所・すべて・行わない)																																											
	2 石材等	天然石 (10.2.1)(10.2.3)(表10.2.1)(表10.2.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等級</th> <th>形状及び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上の種類</th> </tr> <tr> <td>・ 床石</td> <td></td> <td>・ 2等品</td> <td>・ 正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8m²以下)</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 粗磨き ・ 本磨き</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8m²以下)</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 粗磨き ・ 本磨き</td> </tr> </table> ジェットパーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・ あり ・ なし テラゾブロック <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上による区分</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上の種類</th> </tr> <tr> <td>・ 床石</td> <td>・ 大理石 ・ 花こう岩</td> <td>・ 1.5~12</td> <td>・ 平もの ・ 役もの</td> <td>・ 片面 ・ 両面</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> </table> テラゾタイル <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 大理石 ・ 花こう岩</td> <td>・ 1.5~12</td> <td>・ 300型 ・ 400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石表面処理剤、表打ち処理剤金物の固定に使用する充填材料等 ・ 専門工事業者の指定する製品	施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上の種類	・ 床石		・ 2等品	・ 正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8m ² 以下)	・ 図示	・ 粗磨き ・ 本磨き				・ 正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8m ² 以下)	・ 図示	・ 粗磨き ・ 本磨き	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上による区分	寸法(mm)	表面仕上の種類	・ 床石	・ 大理石 ・ 花こう岩	・ 1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	・ 図示		施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上の種類	備考		・ 大理石 ・ 花こう岩	・ 1.5~12	・ 300型 ・ 400型	
施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上の種類																																								
・ 床石		・ 2等品	・ 正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8m ² 以下)	・ 図示	・ 粗磨き ・ 本磨き																																								
			・ 正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8m ² 以下)	・ 図示	・ 粗磨き ・ 本磨き																																								
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上による区分	寸法(mm)	表面仕上の種類																																							
・ 床石	・ 大理石 ・ 花こう岩	・ 1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	・ 図示																																								
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上の種類	備考																																								
	・ 大理石 ・ 花こう岩	・ 1.5~12	・ 300型 ・ 400型																																										
3 外壁湿式工法	受け金物 (10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3) 材質 ・ SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm アンカーの材質及び寸法 材質 ・ SS400 寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプクロスメッシュ巻き25~35φ 石表面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 表打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ・ あと施工アンカー横筋流し工法 ・ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 目地 一般目地 ・ シーリング材 目地幅 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 目地めり ・ 6mm以上 ・ 既調合の目地めり 種 類 目地幅 ・ 6mm以上 伸縮調整目地 位置 ・ 標準仕様書(11.1.1)による ・ 図示 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による 目地寸法 ・ 幅・深さとも10mm以上	5 外壁乾式工法 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4) ・ 図示 ・ 標準仕様書(表10.2.4)による (方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式) アンカーの材質及び寸法 ・ ステンレス(SUS304)M10 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 だぼ用の穴の位置 ・ 標準仕様書(10.5.2)(2)(7)による ・ 図示 石表面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 表打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の(・1.0 ・1.5 ・1.3)倍の風圧力に対応した構法 目地 目地幅及び深さ ・ 8mm以上 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 図示 透水性吸収防水剤 床石張り ・ 適用する ・ 適用しない (10.6.2)(10.6.3) 石表面処理 床石張り ・ 適用する ・ 適用しない 階段張り ・ 適用する ・ 適用しない 表打ち処理剤 床石張り ・ 適用する ・ 適用しない 目地 目地幅(屋外) ・ 目地幅(屋内) ・ 一般目地 ・ シーリング材 目地幅及び深さ ・ 6mm以上 ・ 種類 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 目地モルタル 目地幅(屋外) ・ 4mm以上 目地幅(屋内) ・ 3~6mm以上 ・ 既調合の目地モルタル 目地幅(屋外) ・ 4mm以上 目地幅(屋内) ・ 3~6mm以上 伸縮調整目地 位置 ・ 床面積30m ² ごと、細長い通路の場合6mごと及び他の部材と取り合う箇所 ・ 図示 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による 目地寸法 ・ 幅・深さとも10mm以上 ・ 図示 取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法 (10.2.2)(10.7.1)(10.7.3) 特殊部位用金物 材質 ・ SUS304 寸法等 引金物 ・ 標準仕様書(表10.2.3)による だぼ ・ 標準仕様書(表10.2.3)による かすがい ・ 標準仕様書(表10.2.3)による 受金物 ・ 標準仕様書(10.2.2)(1)(4)による 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ・ 図示 ・ 標準仕様書(表10.2.4)に準ずる (方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式) あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 石表面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取り付け代 ・ 70mm程度 ・ 適用しない 石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 目地(湿式工法の場合) 一般目地 ・ シーリング材 目地幅 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 目地めり 目地幅 ・ 6mm以上 ・ 既調合の目地めり 種 類 目地幅 ・ 6mm以上 伸縮調整目地 位置 ・ 標準仕様書(11.1.1)による ・ 図示 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による 目地寸法 ・ 幅・深さとも10mm以上 ・ 図示 目地(乾式工法の場合) 目地幅及び深さ ・ 8mm以上 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 図示																																											
4 内壁空積工法	受け金物 (10.2.2)(10.4.2)(10.4.3) 材質 ・ SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm アンカーの材質及び寸法 材質 ・ SS400 寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 石表面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 表打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ・ あと施工アンカー横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 目地 一般目地 ・ シーリング材 目地幅 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 目地めり ・ 6mm以上 ・ 既調合の目地めり 種 類 目地幅 ・ 6mm以上 伸縮調整目地 位置 ・ 6m程度ごと ・ 図示 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による 目地寸法 ・ 幅・深さとも10mm以上 ・ 図示	7 笠木、甲板等の石造り 取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法 (10.2.2)(10.7.1)(10.7.3) 特殊部位用金物 材質 ・ SUS304 寸法等 引金物 ・ 標準仕様書(表10.2.3)による だぼ ・ 標準仕様書(表10.2.3)による かすがい ・ 標準仕様書(表10.2.3)による 受金物 ・ 標準仕様書(10.2.2)(1)(4)による 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ・ 図示 ・ 標準仕様書(表10.2.4)に準ずる (方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式) あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 石表面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取り付け代 ・ 70mm程度 ・ 適用しない 石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 目地(湿式工法の場合) 一般目地 ・ シーリング材 目地幅 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 目地めり 目地幅 ・ 6mm以上 ・ 既調合の目地めり 種 類 目地幅 ・ 6mm以上 伸縮調整目地 位置 ・ 標準仕様書(11.1.1)による ・ 図示 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による 目地寸法 ・ 幅・深さとも10mm以上 ・ 図示 目地(乾式工法の場合) 目地幅及び深さ ・ 8mm以上 シーリング材 ・ 標準仕様書(表9.7.1)による ・ 図示																																											

11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ・ 標準仕様書(表11.1.1)による ・ 図示 (11.1.3)(表11.1.1) 目地寸法 ・ 標準仕様書(表9.7.3)による ・ 図示																																						
	2 セメントモルタルによるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.3)(11.2.7) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="3">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする	施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり			役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐滑り性	備考	I類	II類	III類	無	有	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
施工箇所	種類	形状寸法(mm)				吸水率による区分			うわぐすり									役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐滑り性	備考																	
			I類	II類	III類	無	有	標準	特注	有	無																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																										

12 木工事	3 有機系接着剤によるタイル張り	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・ 目荒らし工法(高圧水洗処理) ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 改良種上げ張り 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良種上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等をあらかじめ工場において所定の割合に配合した材料とする(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による タイルの形状、寸法等 (11.3.2~11.3.4)(11.3.7) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="3">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ・ 樹脂系シーリング材 ひび割れ誘発目地 ・ 樹脂系シーリング材 伸縮調整目地 ・ 変性シリコン系シーリング材 その他の目地 ・ 変性シリコン系シーリング材 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地の処理 ・ 目荒らし工法(高圧水洗処理) ・ MCR工法 ・ 磁器製 () ・	施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり			役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐滑り性	備考	I類	II類	III類	無	有	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																															
	施工箇所	種類				形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり								役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																	
I類			II類	III類	無		有	標準	特注	有	無																																																																																																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																										
4 階段滑り止め	1 表面仕上げ (11.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面仕上げの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">機械加工</td> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">手加工</td> <td>・ H-A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ H-B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ H-C種</td> <td></td> </tr> </table> 2 製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) ・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 2級</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 2級</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> ・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 上小節</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 小節以上</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> ・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等</td> <td></td> <td>・ 10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> ・ JAS 1083(製材)以外の製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(造作材の場合) ・ A種 ・ B種</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(造作材の場合) ・ A種 ・ B種</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・</td> </tr> </table>	表面仕上げの種類		適用箇所	機械加工	・ A種		・ B種		・ C種		手加工	・ H-A種		・ H-B種		・ H-C種		施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				・ 2級		・ A種 ・ B種			・				・ 2級		・ A種 ・ B種			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				・ 上小節		・ A種 ・ B種			・				・ 小節以上		・ A種 ・ B種			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				・ 1等		・ 10%以下 ・ A種 ・ B種			・				・ 1等		・ A種 ・ B種			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材の適用				(造作材の場合) ・ A種 ・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・				(造作材の場合) ・ A種 ・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・
表面仕上げの種類		適用箇所																																																																																																																						
機械加工	・ A種																																																																																																																							
	・ B種																																																																																																																							
	・ C種																																																																																																																							
手加工	・ H-A種																																																																																																																							
	・ H-B種																																																																																																																							
	・ H-C種																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																
			・ 2級		・ A種 ・ B種			・																																																																																																																
			・ 2級		・ A種 ・ B種			・																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																
			・ 上小節		・ A種 ・ B種			・																																																																																																																
			・ 小節以上		・ A種 ・ B種			・																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																
			・ 1等		・ 10%以下 ・ A種 ・ B種			・																																																																																																																
			・ 1等		・ A種 ・ B種			・																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材の適用																																																																																																																		
			(造作材の場合) ・ A種 ・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・																																																																																																																		
			(造作材の場合) ・ A種 ・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	・ A種 ・ B種	・																																																																																																																		

3 造作用集成材	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・ 2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・ 2等</td> <td>・</td> </tr> </table> 「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・ 2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・ 2等</td> <td>・</td> </tr> </table> 「集成材の日本農林規格」による化粧びり構造用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・ 2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・ 2等</td> <td>・</td> </tr> </table> 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 15%以下</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 15%以下</td> <td>・</td> </tr> </table> 「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 15%以下</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 15%以下</td> <td>・</td> </tr> </table> 「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり構造用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 15%以下</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 15%以下</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材の適用					・ 1等 ・ 2等	・					・ 1等 ・ 2等	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材の適用						・ 1等 ・ 2等	・						・ 1等 ・ 2等	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材の適用						・ 1等 ・ 2等	・						・ 1等 ・ 2等	・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用					・ 15%以下	・					・ 15%以下	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用							・ 15%以下	・							・ 15%以下	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用							・ 15%以下	・							・ 15%以下	・
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																									
				・ 1等 ・ 2等	・																																																																																																																										
				・ 1等 ・ 2等	・																																																																																																																										
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																									
					・ 1等 ・ 2等	・																																																																																																																									
					・ 1等 ・ 2等	・																																																																																																																									
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																									
					・ 1等 ・ 2等	・																																																																																																																									
					・ 1等 ・ 2等	・																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用																																																																																																																										
				・ 15%以下	・																																																																																																																										
				・ 15%以下	・																																																																																																																										
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用																																																																																																																								
						・ 15%以下	・																																																																																																																								
						・ 15%以下	・																																																																																																																								
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用																																																																																																																								
						・ 15%以下	・																																																																																																																								
						・ 15%以下	・																																																																																																																								
4 造作用単板積層材	「JAS 0701に基づく造作用単板積層材」 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ あり(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ なし(等級)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> 「JAS 0701以外の造作用単板積層材」 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ あり(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ なし(等級)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 14%以下</td> <td>・</td> </tr> </table> 「JAS 3079に基づく直交集成材(DLT)」 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ性能(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材の適用			・ あり(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ なし(等級)	・ 適用する ・ 適用しない	・	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材の適用			・ あり(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ なし(等級)	・ 適用する ・ 適用しない	・ 14%以下	・	施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材の適用								・																																																																																								
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材の適用																																																																																																																											
		・ あり(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ なし(等級)	・ 適用する ・ 適用しない	・																																																																																																																											
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材の適用																																																																																																																										
		・ あり(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ なし(等級)	・ 適用する ・ 適用しない	・ 14%以下	・																																																																																																																										
施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材の適用																																																																																																																								
							・																																																																																																																								
5 合板等	「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 5.5</td> <td>・ ラワン ・ しな</td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>広葉樹 ・ 2等以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ラワン ・ しな</td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>針葉樹 ・ C-D以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> 「合板の日本農林規格」による構造用合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 12</td> <td>・ 2級以上</td> <td>・ 1類 ・ 特類</td> <td>・ C-D以上 ・ 特類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 特類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </table> 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材の適用		・ 5.5	・ ラワン ・ しな	・ 1類 ・ 2類	広葉樹 ・ 2等以上	・ 適用する ・ 適用しない	・			・ ラワン ・ しな	・ 1類 ・ 2類	針葉樹 ・ C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	・	施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材の適用		・ 12	・ 2級以上	・ 1類 ・ 特類	・ C-D以上 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・	・	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材の適用				・ 1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない	・	施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理			・ 1類 ・ 2類		・ 適用する ・ 適用しない	・																																																					
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材の適用																																																																																																																									
	・ 5.5	・ ラワン ・ しな	・ 1類 ・ 2類	広葉樹 ・ 2等以上	・ 適用する ・ 適用しない	・																																																																																																																									
		・ ラワン ・ しな	・ 1類 ・ 2類	針葉樹 ・ C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	・																																																																																																																									
施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材の適用																																																																																																																							
	・ 12	・ 2級以上	・ 1類 ・ 特類	・ C-D以上 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・	・																																																																																																																							
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材の適用																																																																																																																										
			・ 1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない	・																																																																																																																										
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																											
			・ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																											
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																										
		・ 1類 ・ 2類		・ 適用する ・ 適用しない	・																																																																																																																										

12 木工事 (続き)

5 合板等 (続き)

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	・ 15		・ 13/17	・ P又はM	

・ JAS Q306に基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面による区分
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級

・ MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

6 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)

・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し諸金物

・ かすがい、座金、箱金物、短冊金物

標準仕様書 (表12.2.3~表12.2.5)に示す程度の市販品、表14.2.2のF種程度

形状 () 寸法 () 材質 ()

7 防蟻・防蟻

・ 防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1)(12.3.2)

適用部位 ()

・ 薬液の加圧注入による防蟻・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・ K2 ・ K3 ・ K4
	・ K2 ・ K3 ・ K4

・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	・ 標準仕様書 (12.3.1)(4)(b)	・ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理

適用部位 ()

・ 合板等の加圧注入処理の適用

適用部位 ()

13 屋根及び木工事

1 長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考
	・ JIS G 3322の屋根用コイル (GGLCOR-20-AZ150)			・ 心木なし瓦葺葺 ・ 立平葺 ・ 蟻掛葺 ・ 横葺	

下葺材料

・ アスファルトルーフィング940

・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層材タイプ ・ 粘着層付タイプ)

工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

雪止め ・ 設置する (図示)

2 折板葺

(13.2.2)(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先	耐火性能
	・ 重ね形 ・ はげ締め形 ・ かん合形			種	・ 7&2コイル 合金板葺		・ あり ・ なし	・ 30分 ・ なし

材料

・ JIS G 3322の屋根用コイル (GGLCOR-20-AZ150)

タイトフレームにJIS G 3322以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋外で使用する場合は表面処理

標準仕様書 (表14.2.2)による

断熱材張り ・ 行う

断熱材の種類

厚さ (mm)

防火性能

時間

・ 行わない

折板のくらは締め

・ けらば包みによる方法

工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

3 粘土瓦葺

(13.4.2)(13.4.3)

施工箇所	種類			産地	役物瓦の種類	雪留め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分			

・ 適用する
・ 適用しない
・ 適用しない

椀瓦の防災瓦の使用 ・ 適用する ・ 適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等 ・ 行う ・ 行わない

瓦葺木

材質 ・ 杉

寸法 ・ 幅21mm×高さ15mm以上

棟補強用心材

材質 ・ 杉

寸法 ・ 幅40mm×高さ30mm以上

瓦緊結用釘及びねじ

種類

径

長さ

棟補強等に使用する金物等

材質 ・ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製

形状、寸法及び留め付け方法 ・ 図示

工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等

・ 図示

瓦葺木の留め付け工法 ・ 図示

棟の工法

・ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟

・ のし様み棟

面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合

・ モルタル ・ 瓦葺き用しっくい

4 とい

(13.5.2)(13.5.3)(表13.5.4)

種別	材種	径	施工箇所	備考
たてどい	・ 硬質塩化ビニル管 ・ 配管用鋼管 ・ ステンレス鋼管			SUS304
軒どい	・ 硬質塩化ビニル管 (軒)			

鋼管製といの防露巻き

・ 適用する (工法 ・ 標準仕様書 (表13.5.4)による)

・ 適用しない

とい受け金物 (13.5.2)(表13.5.3)

材種

・ 標準仕様書 (表13.5.2)による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)

・ ステンレス製

・ 市販品 (とい径100以下)

・ 25mm×4.5mm以上 (とい径100を超えるもの)

取付け間隔

・ 標準仕様書 (表13.5.2)による

足金物

材種

・ 標準仕様書 (表13.5.2)による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)

・ 市販品

形状

・ 市販品

取付け間隔

・ 標準仕様書 (表13.5.2)による

多雪地域 ・ 適用しない ・ 適用する

ルーフドレンの材種その他

種別	呼び	施工箇所	材種
・ ろく屋根用 たて形1型	・ ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150		
・ ろく屋根用 横形1型	・ ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150		
・ パルコ用	・ ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100		
・ パルコ中継用	・ ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100		

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

適用部材	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)
・ A種 (HL) 程度	
・ 鏡面仕上げ程度	
・ No.2B程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種別	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	備考
	・ 標準色 () ・ 特注色 ()		

3 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
溶融亜鉛めっき	・ A種 ・ B種 ・ C種	
電気亜鉛めっき	・ D種 ・ E種 ・ F種	

4 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2~14.2.4)(表14.4.1)

屋外 (・ 25形 ・ 19形) 屋内 (・ 19形 ・ 25形)

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 900程度 ・ 図示

周辺部の端からの間隔 ・ 図示

野縁の間隔 ・ 300程度 ・ 図示

・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 ・ 図示

・ 天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合

補強方法 ・ 標準仕様書 (14.4.4)(8)による ・ 図示

・ 天井のふところが3.0mを超える場合

補強方法 ・ 図示

・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 ・ 図示

補強方法 ・ 図示

・ 天井下地材における耐風圧性を考慮した補強

補強箇所 ・ 図示

補強方法 ・ 図示

屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

5 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14.5.3)(14.5.4)(表14.5.1)

・ 標準仕様書 (表14.5.1)によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・ 図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合

・ 図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

・ 標準仕様書 (表14.5.4)(5)による

6 金属成形板張り

(14.6.2)(14.6.3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	
					種別	色合い等
・ 7&2コイル	・ 押出し	・ フラット	・ 100	・ 1.0		
・ 8&2コイル	・ プレス	・ 目地あり ・ 目地なし ・ 凹凸				

7 アルミニウム笠木

(14.7.2)(14.7.3)(表14.2.1)(表14.7.1)

施工箇所	種類	製品幅	呼称肉厚	表面処理	
				種別	色合い等
	・ 押出し250形	・ 240	・ 1.6以上	種	・ 標準色 ()
	・ 押出し300形	・ 250	・ 1.8以上		・ 特注色 ()
	・ 押出し350形	・ 300	・ 2.0以上		
		・ 350	・ 2.0以上		
			・ 2.0以上		
	・ 板材折曲げ形		・ 2.0以上		

棟上避雷導体システム

・ なし ・ あり (実厚2.0以上)

笠木の固定金具の工法等

取付け用下地 ・ 標準仕様書 (14.4)による ・ 図示

工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

8 手すり及びタラップ

材料及び仕上げ (14.8.2)(14.8.3)(20.2.12)

手すり

・ 図示

・ SUS304 表面処理 ・ HL程度

・ 鋼製 表面処理 ・ 溶融亜鉛めっきC種

タラップ

・ 図示

・ SUS304 (スリッ止め加工 ・ あり ・ なし)

・ 鋼製 表面処理 ・ 溶融亜鉛めっきC種

15 左官工事

1 モルタル塗り

モルタル

・ 現場調合材料 (15.3.2)(15.3.5)

・ 既調合材料 (材料:)

既製目地材

・ 設ける 施工箇所 ()

形状 (・ 図示)

・ 設けない

床の目地

・ 設ける 目地割り ・ 2m程度 (最大目地間隔3m程度)

目地の種類

・ 押し目地

・ 設けない

外装壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整剤塗りの接着剤試験

・ 適用する ・ 適用しない

2 ラス系下地

構法 (15.2.4)

・ 二層下地通気構法

・ 単層下地通気工法

換気口部の措置 ・ 公共木造建築工事標準仕様書 (11.4.3)(2)(ク)

・ 直張りラスモルタル下地

・ 直張りラスシートモルタル下地

建築基準法に基づく耐力壁、耐火構造、準耐火構造等の指定

ラスの材料

材料記号及び種類 ()

単位面積あたりの質量 ()

ラスシートの材料

ラス目による区分 (・ M)

山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (・ L54(建築基準法に基づく耐力壁))

ステーブルの形状及び寸法 ()

直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工 ()

3 セッコウボード

その他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ (15.2.5)

種類 (・ GB-R ・ GB-L) 長さ (mm)

木質系セメント板の種類及び厚さ

種類 () 長さ (mm)

4 こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ 指定あり ・ 指定なし (15.2.6)

5 木ずり下地

木ずり用小幅板の種類 (・ 杉(心去り材)) (15.2.7)

6 セルフレブリング材塗り

・ セッコウ系 ・ セメント系 (15.5.2)(表15.5.1)

7 仕上塗材仕上げ

仕上塗材の種類 (15.6.2)

薄付け仕上塗材				
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
			・ 適用する ・ 適用する	・ 適用する ・ 適用する

・ 厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗材
			・ 適用する ・ 適用する	・ 適用する ・ 適用する

防火材料 ・ 建築基準法に基づく指定又は認定品 ()

・ 複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐火性
			(溶媒) ・ 水系 (樹脂) ・ 7&2系 (外観) ・ つやあり ・ 艶消し	・ 耐火型3種 ・ 耐火型2種 ・ 耐火型1種

防火材料 ・ 建築基準法に基づく指定又は認定品 ()

・ 軽量骨材仕上塗材

種類(呼び名)	防火材料

8 ALCパネルの場合の下地処理

内部目地部の形状 ・ V形目地付き (15.6.4)

9 マスチック塗材塗り

種別 ・ A種 ・ B種 (仕上塗材塗り) EP-G ・ B種 ・ A種 (15.7.2)

10 セッコウプラスター

下塗り ・ 既調合プラスター (下塗り用) ・ 現場調合プラスター (下塗り用)

上塗り ・ 既調合プラスター (上塗り用) ・ しっくい塗り (15.8.3)

11 ロックウール吹付け

仕上げ材吹付け厚さ ・ 図示 ・ 25mm (15.12.2)(15.12.3)

色彩 ・ 着色 ・ 原色

12 しっくい塗り

しっくい (15.10.2~15.10.4)

・ 既調合材料 色しっくい ・ 適用する ・ 適用しない

・ 現場調合材料

下地

・ セッコウボード ・ セッコウラスボード ・ モルタル塗り

・ 木ずり ・ こまい土壁

既調合しっくいの調合

・ セッコウボード下地 ・ 標準仕様書 (表15.10.1)

・ モルタル塗り下地 ・ 標準仕様書 (表15.10.2)

・ セッコウラスボード下地 ・ 製造時の仕様による

現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚

・ 木ずりの下地 ・ 標準仕様書 (表15.10.1)

・ セッコウプラスター下地、こまい下地 ・ 標準仕様書 (表15.10.2)

既調合しっくいの上塗り仕上げ工法

・ なで切り仕上げ ・ パターン仕上げ

16 建具工事(続き)	18 ガラス	<p>・フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 (9.7)(16.14.2~16.14.4)</p> <p>・建具表による</p> <p>・型板ガラスの厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>・網入りガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>・合わせガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</p> <p>・建具表による</p> <p>形状による種類</p> <p>・平面合わせガラス</p> <p>・曲面合わせガラス</p> <p>落球衝撃並びに離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</p> <p>・Ⅰ類</p> <p>・Ⅱ-1類</p> <p>・Ⅱ-2類</p> <p>・Ⅲ類</p> <p>・強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称</p> <p>・建具表による</p> <p>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</p> <p>・Ⅰ類</p> <p>・Ⅲ類</p> <p>・熱線吸収ガラス</p> <p>板ガラスによる種類、厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>性能による種類</p> <p>・1種</p> <p>・2種</p> <p>・複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>・建具表による</p> <p>断熱性による区分</p> <p>・T1</p> <p>・T2</p> <p>・T3</p> <p>・T4</p> <p>・T5</p> <p>・T6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <p>・G</p> <p>・S</p> <p>乾燥気体の種類</p> <p>・空気</p> <p>・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>日射遮蔽性による区分</p> <p>・1種</p> <p>・2種</p> <p>・3種</p> <p>耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)</p> <p>・A種</p> <p>・B種</p> <p>映像調整</p> <p>・行わない</p> <p>・行う</p> <p>・倍強度ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>ガラス留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・7mm以下</td> <td>・シーリング材(SR-1)</td> <td>・建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガスケット</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グレイズンク形状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材(SR-1)</td> <td>・建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・シーリング材(SR-1)</td> <td>・建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製</td> <td>・シーリング材(SR-1)</td> <td>・建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガスケット</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グレイズンク形状</td> <td></td> </tr> </table>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	・7mm以下	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による		・ガスケット	・図示		・グレイズンク形状		・鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による		・図示		・ステンレス製	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による		・図示		・樹脂製	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による		・ガスケット	・図示		・グレイズンク形状		<p>2 メタルカーテンウォール</p> <p>主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th>支店間距離(h)</th> <th>耐風圧性能</th> </tr> <tr> <td>4m以下</td> <td>・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>性能の確認及び判定方法</p> <p>・性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける</p> <p>金属系材料の種類</p> <p>・7mm以下</p> <p>・鋼材</p> <p>・ステンレス鋼材(17.2.2)(17.2.3)(17.2.5)</p> <p>シーリング材の種類(目地等)</p> <p>種類及び寸法等</p> <p>・図示</p> <p>ガラスの取り付け材料</p> <p>・シーリング</p> <p>種類</p> <p>・SR-2</p> <p>・SR-1</p> <p>支持方法</p> <p>・4辺支持</p> <p>・構造がスリット</p> <p>種類</p> <p>・ゴム系</p> <p>・EPDM系</p> <p>・シリコン系</p> <p>寸法</p> <p>・H型</p> <p>・Y型</p> <p>・C型</p> <p>ガラス板厚()</p> <p>支持枠の厚さ()</p> <p>ウェブの寸法()</p> <p>断熱材</p> <p>種類()</p> <p>厚さ(mm)()</p> <p>施工箇所</p> <p>・図示</p> <p>形状および仕上げ</p> <p>製品の寸法許容差</p> <p>・標準仕様書(表17.2.1)による</p> <p>見え掛り部の仕上げ</p> <p>(アルミニウム材の場合)</p> <p>規格等</p> <p>標準仕様書(16.2.3)による</p> <p>種別</p> <p>標準仕様書(表14.2.1)による</p> <p>着色</p> <p>・標準色</p> <p>・特注色</p> <p>(鋼材及びステンレスの場合)</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等</p> <p>・カーテンウォールの製造所の仕様</p> <p>取付</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差</p> <p>目地の幅</p> <p>・±3mm</p> <p>目地の芯の通り</p> <p>・0~2mm</p> <p>目地高側の段差</p> <p>・0~2mm</p> <p>各階の基準量から各部材までの距離</p> <p>・±3mm</p> <p>耐久処理</p> <p>適用部位</p> <p>・図示</p> <p>材料、種別</p> <p>・図示</p> <p>3 PCカーテンウォール</p> <p>材料 (17.3.2~17.3.5)(表17.3.1)(表17.3.2)</p> <p>コンクリート</p> <p>種類</p> <p>・普通コンクリート</p> <p>・軽量コンクリート1種</p> <p>品質</p> <p>設計基準強度(Fc)</p> <p>・30N/mm²</p> <p>スランプ</p> <p>・12cm</p> <p>気乾単位容積質量</p> <p>・普通コンクリートの場合</p> <p>2.1t/m³を超え2.5t/m³以下</p> <p>・軽量コンクリートの場合</p> <p>1.8t/m³~2.1t/m³以下</p> <p>単位水量の最大値</p> <p>・185kg/m³</p> <p>鉄筋</p> <p>種類の記号</p> <p>・SD295</p> <p>補強鉄線</p> <p>径(mm)</p> <p>・3.2</p> <p>・4.0</p> <p>・5.0</p> <p>・6.0</p> <p>網目寸法</p> <p>シーリング材の種類(目地等)</p> <p>種類及び寸法等</p> <p>・図示</p> <p>ガラスの取り付け材料</p> <p>・構造がスリット</p> <p>施工箇所</p> <p>・図示</p> <p>材質</p> <p>・ゴム系</p> <p>・EPDM系</p> <p>・シリコン系</p> <p>寸法(mm)</p> <p>・H型</p> <p>・Y型</p> <p>・C型</p> <p>ガラス板厚()</p> <p>支持枠の厚さ()</p> <p>ウェブの寸法()</p> <p>耐久処理</p> <p>適用部位</p> <p>・図示</p> <p>材料、種別</p> <p>・図示</p> <p>断熱材</p> <p>種類()</p> <p>厚さ(mm)()</p> <p>施工箇所</p> <p>・図示</p> <p>先付けの材料</p> <p>・表面仕上げ材(セラミックタイル</p> <p>・石材)</p> <p>・建具枠</p> <p>・ゴンドラ用ガイドレール</p> <p>形状および仕上げ</p> <p>製品の見え掛り部の寸法許容差</p> <p>辺長</p> <p>・±3mm</p> <p>対角線長の差</p> <p>・0~5mm</p> <p>版厚</p> <p>・±2mm</p> <p>開口部内法寸法</p> <p>・±2mm</p> <p>ねじれ、反り</p> <p>・0~5mm</p> <p>曲がり</p> <p>・0~3mm</p> <p>面の凹凸</p> <p>・0~3mm</p> <p>先付け金物の位置</p> <p>・0~5mm</p> <p>PCカーテンウォールの仕上げ</p> <p>構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)</p> <p>・図示</p>	支店間距離(h)	耐風圧性能	4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること	4mを超える	・	<p>制作</p> <p>PC版の配筋</p> <p>・図示</p> <p>取付け</p> <p>躯体付金物の取付け位置の寸法許容差</p> <p>鉛直方向</p> <p>・±10mm</p> <p>水平方向</p> <p>・±25mm</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差</p> <p>目地の幅</p> <p>・±5mm</p> <p>目地の芯の通り</p> <p>・±0~3mm</p> <p>目地高側の段差</p> <p>・0~4mm</p> <p>各階の基準量から各部材までの距離</p> <p>・±5mm</p> <p>ガラスの取り付け方法</p> <p>・ガラスの取付け材が構造用ガasketで複層ガラス等と使用する場合は、排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う</p>	<p>6 焼付塗装</p> <table border="1"> <tr> <th>素材</th> <th>焼付種別</th> <th>仕上げ</th> <th>コート</th> <th>ベーク</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>・7mm以下</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・亜鉛めっき鋼板</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・ツリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位	・7mm以下	・フッ素樹脂	・ツリッド					・ウレタン樹脂	・ツリッド					・アクリル樹脂	・ツリッド				・ステンレス	・フッ素樹脂	・ツリッド					・ウレタン樹脂	・ツリッド					・アクリル樹脂	・ツリッド				・亜鉛めっき鋼板	・フッ素樹脂	・ツリッド					・ウレタン樹脂	・ツリッド					・アクリル樹脂	・ツリッド				<p>19 内装工事</p> <p>1 下地の工法</p> <p>施工箇所の下地がセメント系下地及び木質下地以外の場合の接着剤の種類 (19.2.3)</p> <p>・図示</p> <p>標準仕様書(19.2.3)(7)~(9)以外の下地の工法</p> <p>・図示</p> <p>2 ビニル床シート</p> <p>(19.2.2~19.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・FS(複層ビニル床シート)</td> <td>・無地</td> <td>・2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・マーブル柄</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・柄物</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理</p> <p>・熱溶接工法</p> <p>3 ビニル床タイル</p> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・TT(単層ビニル床タイル(接着型))</td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>・2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT(複層ビニル床タイル(接着型))</td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・KT(コブシ型ビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・500×500</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA(置敷きビニル床タイル(置敷き型))</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB(置敷きビニル床タイル(置敷き型))</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>4 特殊機能床材</p> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法</th> <th>性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・帯電防止床シート</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・帯電防止床タイル</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐動荷重性床シート</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防滑性床シート</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防滑性床タイル</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>5 ビニル幅木</p> <p>(19.2.2)</p> <p>材質の種類</p> <p>・軟質</p> <p>・硬質</p> <p>高さ(mm)</p> <p>・60</p> <p>・75</p> <p>・100</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>・1.5以上</p> <p>6 ゴム床タイル</p> <p>種類</p> <p>・単層品</p> <p>・積層品</p> <p>色柄()</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>・3.0</p> <p>・4.5</p> <p>・6.0</p> <p>・9.0</p> <p>寸法(mm)(×)</p> <p>7 カーペット敷き</p> <p>(19.3.2~19.3.3)(表19.3.1)(表19.3.2)</p> <p>・織じゅうたん</p> <p>織り方</p> <p>・バイル形状</p> <p>・ウルトラスカーペット</p> <p>・ダブルフェルトカーペット</p> <p>・カットバイル</p> <p>・フルバイル</p> <p>・7mm以下</p> <p>・カットフルバイル</p> <p>色柄</p> <p>・模様のない無地</p> <p>・バイル系の種類等</p> <p>・無地の織じゅうたんの種別(A種 B種 C種)</p> <p>帯電性</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>織じゅうたんの接合方法</p> <p>・ヒートシール工法</p> <p>・つづり縫い</p> <p>下敷き材</p> <p>・反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・フルバイル</td> <td>・第一種</td> <td>・</td> <td>・500×500</td> <td>・6.5</td> <td>帯電防止及び防汚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>加工品</td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種</td> <td>・</td> <td>・500×500</td> <td>・6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットフルバイル併用</td> <td>・第一種</td> <td>・</td> <td>・500×500</td> <td>・6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>色柄</p> <p>・無地</p> <p>・柄物</p> <p>タイルカーペットの敷方</p> <p>平場</p> <p>・市松敷き</p> <p>・模様流し</p> <p>階段部分</p> <p>・市松敷き</p> <p>・模様流し</p> <p>見切り、押え金物</p> <p>材質()</p> <p>種類()</p> <p>形状等</p> <p>・図示</p>	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考	・FS(複層ビニル床シート)	・無地	・2.0		・	・マーブル柄	・2.5		・	・柄物	・		種類	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考	・TT(単層ビニル床タイル(接着型))	・無地	・300×300	・2.0		・FT(複層ビニル床タイル(接着型))	・柄物	・450×450	・2.5		・KT(コブシ型ビニル床タイル)	・	・500×500	・3.0		・FOA(置敷きビニル床タイル(置敷き型))	・	・	・		・FOB(置敷きビニル床タイル(置敷き型))	・	・	・		種類	厚さ(mm)	寸法	性能	備考	・帯電防止床シート	・	・	・		・帯電防止床タイル	・	・	・		・耐動荷重性床シート	・	・	・		・防滑性床シート	・	・	・		・防滑性床タイル	・	・	・		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法	厚さ(mm)	備考	・フルバイル	・第一種	・	・500×500	・6.5	帯電防止及び防汚		・第二種	・	・	・	加工品	・カットバイル	・第一種	・	・500×500	・6.5			・第二種	・	・	・		・カットフルバイル併用	・第一種	・	・500×500	・6.5			・第二種	・	・	・	
	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																																																																																																																												
・7mm以下	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																													
	・ガスケット	・図示																																																																																																																																																																																																																													
	・グレイズンク形状																																																																																																																																																																																																																														
・鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																													
	・図示																																																																																																																																																																																																																														
・ステンレス製	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																													
	・図示																																																																																																																																																																																																																														
・樹脂製	・シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																													
	・ガスケット	・図示																																																																																																																																																																																																																													
	・グレイズンク形状																																																																																																																																																																																																																														
支店間距離(h)	耐風圧性能																																																																																																																																																																																																																														
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること																																																																																																																																																																																																																														
4mを超える	・																																																																																																																																																																																																																														
素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位																																																																																																																																																																																																																										
・7mm以下	・フッ素樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
	・ウレタン樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
	・アクリル樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
・ステンレス	・フッ素樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
	・ウレタン樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
	・アクリル樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
・亜鉛めっき鋼板	・フッ素樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
	・ウレタン樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
	・アクリル樹脂	・ツリッド																																																																																																																																																																																																																													
種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																												
・FS(複層ビニル床シート)	・無地	・2.0																																																																																																																																																																																																																													
・	・マーブル柄	・2.5																																																																																																																																																																																																																													
・	・柄物	・																																																																																																																																																																																																																													
種類	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																											
・TT(単層ビニル床タイル(接着型))	・無地	・300×300	・2.0																																																																																																																																																																																																																												
・FT(複層ビニル床タイル(接着型))	・柄物	・450×450	・2.5																																																																																																																																																																																																																												
・KT(コブシ型ビニル床タイル)	・	・500×500	・3.0																																																																																																																																																																																																																												
・FOA(置敷きビニル床タイル(置敷き型))	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・FOB(置敷きビニル床タイル(置敷き型))	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
種類	厚さ(mm)	寸法	性能	備考																																																																																																																																																																																																																											
・帯電防止床シート	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・帯電防止床タイル	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・耐動荷重性床シート	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・防滑性床シート	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・防滑性床タイル	・	・	・																																																																																																																																																																																																																												
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																										
・フルバイル	・第一種	・	・500×500	・6.5	帯電防止及び防汚																																																																																																																																																																																																																										
	・第二種	・	・	・	加工品																																																																																																																																																																																																																										
・カットバイル	・第一種	・	・500×500	・6.5																																																																																																																																																																																																																											
	・第二種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
・カットフルバイル併用	・第一種	・	・500×500	・6.5																																																																																																																																																																																																																											
	・第二種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
17 カーテンウォール工事	1 取付方法、性能等	<p>取付方法</p> <p>・層間方式</p> <p>・柱、梁方式</p> <p>・方立方式 (17.1.3)</p> <p>・スタンド方式 (17.2.2)(17.3.2)</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>耐風圧性</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>耐火性</th> <th>耐温度差性(°C)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・30分</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1時間</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・60</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐風圧性</p> <p>1章 適用区分による風圧力の(1.0 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(°C)						・30分	・80						・1時間	・70						・	・60						・	・	<p>18 塗装工事</p> <p>1 材料</p> <p>防火材料</p> <p>・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする</p> <p>・次の箇所を除き防火材料とする</p> <p>(箇所)</p> <p>2 素地ごしらえ</p> <p>(18.2.2~18.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DPのみ)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼板</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DPのみ)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及び目地</td> <td>目地 継目処理工法</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>目地 継目処理工法以外</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> </table> <p>3 錆止め塗料塗り</p> <p>(18.3.2~18.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>錆止め塗料の種類</th> <th>錆止め塗料塗りの工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>A種</td> <td>見え掛り A種 見え隠れ B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>C種及びD種</td> <td>標準仕様書(表16.3.4)</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>B種</td> <td>A種 見え掛り A種 見え隠れ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>・鋼製建具等</td> <td>鋼製建具等 A種 左記以外 B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・その他</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>DP</td> <td>B種</td> <td>鋼製建具等 A種 左記以外 B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EP-G</td> <td>C種</td> <td>鋼製建具等 A種 左記以外 B種</td> </tr> </table> <p>4 塗装</p> <p>(18.4.1~18.13.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> <th>高日射反射率塗料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・クリヤカー塗り(CL)</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>・</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面、鉄鋼面</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面等</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エポキシペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・スチン塗り</td> <td>・ビメント</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スチン塗り</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オイルフィニッシュ塗り(OS)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>高日射反射率塗料を適用する場合の適用箇所は壁又は屋根面の金属面とする</p> <p>クリアラッカー塗り(CL)A種の工程2の適用</p> <p>・適用する(着色剤</p> <p>・溶剤系着色剤</p> <p>・油性染料着色剤)</p> <p>・適用しない</p> <p>ウレタン樹脂ニス塗り(UC)の工程1の適用</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>オイルステイン塗りの工程等</p> <p>・高日射反射率塗料塗り</p> <p>屋根用高日射反射率塗料(JIS K 5675)</p> <p>種類</p> <p>・2種</p> <p>等級()級</p> <p>塗付け量(kg/m²)</p> <p>・塗料製造所の仕様による</p> <p>5 フッ素樹脂塗装</p> <p>打放しコンクリート面保護工法</p> <p>(下塗り材)</p> <p>水性 浸透性吸水防止剤</p> <p>(上塗り材)</p> <p>水性フッ素樹脂クリアー</p> <p>・水性フッ素樹脂カラークリアー</p>	下地面等		種別		木部	不透明塗料塗りの場合	・A種	・B種	透明塗料塗りの場合	・A種	・B種	鉄鋼面(DP以外)		・A種	・B種	鉄鋼面(DPのみ)		・A種	・B種	亜鉛めっき鋼板		・A種	・B種	モルタル面及びプラスター面		・A種	・B種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種	・B種	押出成形セメント板面		・A種	・B種	コンクリート面(DPのみ)		・A種	・B種	せっこうボード面及び目地	目地 継目処理工法	・A種	・B種	その他ボード面	目地 継目処理工法以外	・A種	・B種	下地面等	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工法	鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り A種 見え隠れ B種	DP	C種及びD種	標準仕様書(表16.3.4)	EP-G	B種	A種 見え掛り A種 見え隠れ B種	亜鉛めっき鋼面	SOP	・鋼製建具等	鋼製建具等 A種 左記以外 B種			・A種	・B種			・その他	・A種			・A種	・B種		DP	B種	鋼製建具等 A種 左記以外 B種		EP-G	C種	鋼製建具等 A種 左記以外 B種	塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	・A種	・B種	木部屋内	・A種	・B種	鉄鋼面	・A種	・B種	垂鉛めっき面	・	・	・適用する	・クリヤカー塗り(CL)	・A種	・B種	・	・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	・A種	・B種	・	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	・	・適用する	垂鉛めっき鋼面	・	・適用する	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種	・B種	・つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、鉄鋼面	・A種	・B種	せっこうボード面	・A種	・B種	その他ボード面等	・	・	・合成樹脂エポキシペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	・A種	・B種	・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	・A種	・B種	・スチン塗り	・ビメント	・	・		スチン塗り	・	・		オイルフィニッシュ塗り(OS)	・	・	・木材保護塗料塗り(WP)	・A種	・B種	・																															
	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(°C)																																																																																																																																																																																																																								
					・30分	・80																																																																																																																																																																																																																									
					・1時間	・70																																																																																																																																																																																																																									
					・	・60																																																																																																																																																																																																																									
					・	・																																																																																																																																																																																																																									
下地面等		種別																																																																																																																																																																																																																													
木部	不透明塗料塗りの場合	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	透明塗料塗りの場合	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面(DP以外)		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面(DPのみ)		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めっき鋼板		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
モルタル面及びプラスター面		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
押出成形セメント板面		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DPのみ)		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
せっこうボード面及び目地	目地 継目処理工法	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
その他ボード面	目地 継目処理工法以外	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
下地面等	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工法																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り A種 見え隠れ B種																																																																																																																																																																																																																												
	DP	C種及びD種	標準仕様書(表16.3.4)																																																																																																																																																																																																																												
	EP-G	B種	A種 見え掛り A種 見え隠れ B種																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めっき鋼面	SOP	・鋼製建具等	鋼製建具等 A種 左記以外 B種																																																																																																																																																																																																																												
		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
		・その他	・A種																																																																																																																																																																																																																												
		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	DP	B種	鋼製建具等 A種 左記以外 B種																																																																																																																																																																																																																												
	EP-G	C種	鋼製建具等 A種 左記以外 B種																																																																																																																																																																																																																												
塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料																																																																																																																																																																																																																												
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	木部屋内	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	鉄鋼面	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
垂鉛めっき面	・	・	・適用する																																																																																																																																																																																																																												
・クリヤカー塗り(CL)	・A種	・B種	・																																																																																																																																																																																																																												
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	・A種	・B種	・																																																																																																																																																																																																																												
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	・	・適用する																																																																																																																																																																																																																												
	垂鉛めっき鋼面	・	・適用する																																																																																																																																																																																																																												
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
・つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、鉄鋼面	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	せっこうボード面	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	その他ボード面等	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・合成樹脂エポキシペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
・スチン塗り	・ビメント	・	・																																																																																																																																																																																																																												
	スチン塗り	・	・																																																																																																																																																																																																																												
	オイルフィニッシュ塗り(OS)	・	・																																																																																																																																																																																																																												
・木材保護塗料塗り(WP)	・A種	・B種	・																																																																																																																																																																																																																												
年度	設計年月	工事名	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面名称	縮尺	N o.																																																																																																																																																																																																																									

22 舗装工事 続き	7 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装(22.8.2~22.8.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板(N)</td> <td>・300角</td> <td>・60</td> <td>・砂</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板(P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板(M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table> クッション材 ・砂 ・空練りモルタル 普通平板は(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は(透水性コンクリート)とする。ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする 仕上り面の平坦性 ・歩行の支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする					種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	・普通平板(N)	・300角	・60	・砂	・研ぎ出し	・透水平板(P)	・	・	・モルタル	・洗い出し	・保水性平板(M)	・	・	・	・たたき出し	23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ・行う ・行わない (23.1.3) 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ・行わない																			
		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																										
		・普通平板(N)	・300角	・60	・砂	・研ぎ出し																																										
		・透水平板(P)	・	・	・モルタル	・洗い出し																																										
		・保水性平板(M)	・	・	・	・たたき出し																																										
		2 植栽基盤の整備	樹木の植栽基盤の整備 ・適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・樹木</td> <td>・A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・葉張り部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・100 ・120 ・150</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>・80 ・100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・芝、地被類</td> <td rowspan="2">・B種</td> <td>樹高3m以上~7m未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・60 ・80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50 ・60</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ただし、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする 植栽基盤の排水設備 ・設ける(・図示 ・) ・設けない	植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	・A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する	・B種	・100 ・120 ・150	・植栽部分	・適用しない	・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示		・D種	・80 ・100			・芝、地被類		・B種	樹高3m以上~7m未満			・60 ・80					樹高3m未満					・50 ・60						
		植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材																																										
		・樹木	・A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する																																										
			・B種	・100 ・120 ・150	・植栽部分	・適用しない																																										
			・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示																																											
・D種	・80 ・100																																															
・芝、地被類	・B種	樹高3m以上~7m未満																																														
		・60 ・80																																														
		樹高3m未満																																														
		・50 ・60																																														
3 植込み用土	・現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)																																															
4 土壌改良剤	土壌改良剤の適用 ・適用する ・適用しない (23.2.3) 種別及び指定量等 ・バーク堆肥(2) 使用量 植栽基盤面積1m ² あたり(・50L ・) 有機物の含有率(乾物) 70%以上 炭素窒素比(C/N比) 35以下 陽イオン交換容量(乾物) 70meq/100g以上 pH 5.5~7.5 水分 55~65% 幼植栽試験の結果 生育阻害その他の異常が認められない 窒素全量(現物) 0.5%以上 リン酸全量(現物) 0.2%以上 加里全量(現物) 0.1%以上 ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) 「金属等を含む産業廃棄物にかかる判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする 使用量 植栽基盤面積1m ² あたり(・10L ・) 有機物の含有率(乾物) 35%以上 炭素窒素比(C/N比) 20以下 pH 8.5以下 水分 50%以下 窒素全量(現物) 0.8%以上 リン酸全量(現物) 1.0%以上 アルカリ分(現物) 15%以下 ただし、土壌の酸度を強制する目的で使用する場合はこの限りでない 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする																																															
8 砂利敷き	種類 ・A種 施工範囲 ・図示 ・通路 (22.9.2) ・B種 施工範囲 ・図示 ・建物周囲その他																																															
9 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料)による <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅(mm)</th> <th>塗布厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1種(2)</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.5</td> </tr> <tr> <td>・2種(2)</td> <td>加熱</td> <td></td> <td>・黄</td> <td>・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料(2)	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	・1種(2)	常温	液状	・白	・150	・1.5	・2種(2)	加熱		・黄	・100		・3種1号	熔融	粉体状																										
種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																											
・1種(2)	常温	液状	・白	・150	・1.5																																											
・2種(2)	加熱		・黄	・100																																												
・3種1号	熔融	粉体状																																														
10 車止め	車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き 全面接着アンカー併用固定(彫込み30mm、埋込み65mm以上)																																															
5 樹木	樹種、寸法、株立数等 ・図示 (23.3.2)																																															
6 支柱	支柱材 ・丸太(間伐材) ・真竹 (23.3.2~23.3.3) 防腐処理方法 ・加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・図示																																															
7 幹巻き用材料	材料 ・幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)																																															
8 芝	種類 ・コウライシバ ・ノシバ (23.4.2~23.4.3) 芝張りの工法 平地 ・目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ・べた張り																																															